事業番号	06　07　20

事業改善シート（24年度実施事業分）

□予算要求　□予算案　■点検

事　業　名	パーソナル・サポート・モデル事業		担当課	部局	商工労働部
				課・室	労働雇用課
＜参考＞総合5か年計画	プロジェクト	5　雇用・社会参加促進		E-mail	rodokoyo@pref.nagano.lg.jp
	施策の総合的展開	1－6　職業能力の開発と安心できる雇用・就業環境づくり 2　雇用の促進　3　働きやすい労働環境づくりの推進			
				実施期間	H22　～

1　事業の概要

目指す姿	就労や生活面において様々な問題を抱える方に対し、そのニーズに合わせて制度横断、継続的に各種支援のコーディネートを行い、社会から孤立せず、多様な機関や地域からの支援を受けながら自立生活を送れる社会の実現を目指す。
現状	・相談先を求める者や寄り添い型の支援を必要とする者は多く、複数の課題を抱えている者が多い。 ＜相談者数＞ ・H23年度　777人 ・H24年度　825人 ＜PSセンター利用者で1人当たりが抱えている相談項目数と割合＞ ・1種類の課題　33．8% ・2種類の課題　37．4% ・3種類以上の課題　28．8%　（H23～24年度）
県が関与する理由	□法令等義務　□内部管理　□県でなければ実施不可 ■民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 □その他（　　） 【左記の説明、根拠法令等】 国のモデル事業として取り組んでいるが市町村や民間団体等が担う余地はあり、制度の恒久化に向けて市町村等と連携してパーソナル・サポート機能の確立に向けた取組みを行う必要がある。

事業内容

① 成果目標（H24）

・就労率（就労決定者／相談者のうち就労を最優先に希望された者）　31%

② 事業内容　（単位：千円）

項目	実施方法	H24事業実績	H24（当初）	H24（決算）	H25（当初）
パーソナル・サポート・センター運営事業	委託	・県下4か所（長野市、松本市、上田市、飯田市）のセンターでパーソナル・サポーターが就労・生活面で悩みを抱えた方々からの相談を総合的に受け止めた。 ・各課題を解決するための支援策をコーディネートし、相談者の自立生活が軌道にのるためのサポートを行った。（1所当たり年間平均支援件数：4452件） （委託先：一般社団法人長野県労働者福祉協議会）	90,910	88,628	100,390
		合計	90,910	88,628	100,390

事業コスト

区　分（単位：千円）		22年度	23年度	24年度	25年度
予算額	前年度繰越				
	当初予算		72,096	90,910	100,390
	補正予算	5,597			
	合計（A）	5,597	72,096	90,910	100,390
Aの財源	国庫支出金				100,390
	県　債				
	その他（繰入金）	5,597	72,096	90,910	
	一般財源	0	0	0	0
決　算　額（B）		5,597	66,007	88,628	
概算人件費	職員数（人）	1.00	1.00	0.70	0.70
	概算人件費（C）	8,317	8,258	5,781	5,781
概算事業費（B(A)+C）		13,914	74,265	94,409	106,171

成果目標の達成状況

項目	現況（見込）	H24 目標	H24 成果	H24 達成状況	H25 目標
就労率(%)	31%	31	37%	達成	34

目標に対する成果の状況	継続して長期にわたり支援すべき者が増え、なかなか就労に結び付かない者が多い中、就労を最優先に希望された657人のうち、243人の就労が決まった。

2　今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	□ 事業を実施しない　■ 事業を見直して実施　□ 事業を現行どおり実施 ・国や市町村、民間団体等との一層の連携強化により、生活に困窮する者を支援する地域ネットワークを充実する必要がある。 ・地域の実情に即した生活困窮者支援制度の構築について国に求めて行く。